

教育費

教育委員報酬

163 万円
(前年度:163万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育全般の重要事項や基本方針などを決定します。

- ・ 委員報酬 (4名) 163万円



財源

市の負担額

163万円

教育委員会運営費

32 万円
(前年度:33万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育委員会に関する事務を行います。

- ・ 定例会等の会議、各種行事参加の旅費 18万円
- ・ 教育委員視察研修 8万円
- ・ 教育雑誌、切手、郵便代 1万円
- ・ 市町村教育委員会連合会負担金 3万円
- ・ 滑川市・中新川郡教育委員研修会負担金 2万円

財源

市の負担額

32万円

学校医・学校薬剤師報酬

371 万円
(前年度:371万円)

(担当: 学務課 総務係)

小中学校に学校医、薬剤師を配置し、全児童生徒の健康保持増進、環境整備を図ります。

- ・ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師、看護師への報酬 371万円



財源

市の負担額

371万円

教育研究奨励費

180 万円
(前年度:166万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育研究事業や学校教育に関する大会等への助成などを行います。

- ・ 内地留学助成費 40万円
(教職員が大学で研究をするための費用)
- ・ 学童体育大会等費用 32万円
- ・ プラスバンド部の定期演奏会費用 10万円
- ・ 各種会費、負担金 98万円

財源

市の負担額

180万円

教育費

健康診断・健康相談事業費 438 万円 (前年度:443万円)

(担当: 学務課 総務係)

学校における児童生徒、就学予定の児童及び教職員等の健康保持増進を図るため、健康診断を実施します。また、障害を持つ児童生徒の就学指導を行います。

- ・教育支援委員会関係費用 6万円
〔 委員報酬 2万円
個人調査票作成料等 4万円 〕

- ・健康診断関係費用 410万円
〔 児童生徒健康診断委託料 258万円
尿検査、貧血検査(中2のみ)
心臓検診(小1、小4、中1のみ)
結核精密検査(一部)
教職員健康診断委託料 78万円
各種帳票印刷代 27万円
検診器具使用料及び滅菌料 47万円 〕

- ・水質検査料 22万円
〔 飲料水検査料 5万円
学校プール水質検査料 17万円 〕

財源

市の負担額 438万円

奨学資金 628 万円 (前年度:628万円)

(担当: 学務課 総務係)

経済的な理由等により、高校や大学に進学困難な意欲と能力等を有する学生を支援します。

- ・大学生への奨学金の貸与 384万円
市奨学生選考委員会で、認定された学生に対し、奨学金を貸与します。
(卒業後、返済が必要)

- ・大学生への奨学金の給与 144万円
市奨学生選考委員会で、認定された学生に対し、支援金を支給します。(返済不要)

- 〔《給与・貸与》
県内大学等に在籍する学生 月2万円
県外大学等に在籍する学生 月4万円〕

- ・高校生への就学支援金の給与 100万円
市奨学生選考委員会で、認定された学生に対し、支援金を支給します。(返済不要)
1人年間20万円

財源

その他(繰入金) 628万円

幼児教育振興費 13 万円 (前年度:17万円)

(担当: 子ども課 児童福祉係)

幼児教育の振興を図るため支援をします。

- ・私立幼稚園運営費補助金 13万円
幼児教育を担う市内私立幼稚園1園に対して、運営費の一部を補助します。



財源

市の負担額 13万円

幼稚園運営事業費 2,728 万円 (前年度:8,986万円)

(担当: 子ども課 児童福祉係)

満3歳から就学前の児童の幼児教育を行います。また、幼稚園の預かり保育などの利用料の無償化、旧制度の私立幼稚園等を利用する園児で第2子以降の園児の給食費補助を行います。

- ・施設型給付費 2,452万円
新制度幼稚園に入園している児童の幼児教育に要する費用を幼稚園に支払います。

- 〔 市内幼稚園分 2,380万円
市外幼稚園分 72万円 〕

- ・施設等利用給付費 265万円
幼稚園の預かり保育や国立幼稚園に入園している児童の利用料を無償化します。
(上限あり。)

- ・幼稚園保育料軽減事業補助金 11万円
旧制度の私立幼稚園等を利用する第2子以降の園児の給食費を補助します。
(月額上限4,500円)
第2子 11万円



財源

国県支出金 1,843万円
市の負担額 885万円

教育費

奨学事業基金積立金 137 万円 (前年度:135万円)

(担当: 学務課 総務係)

奨学資金事業を運営するため積立します。

卒業生が返還するお金と利子を次の世代の奨学生のために、基金に積立します。



財源

その他(奨学資金返済金)	136万円
その他(基金利子)	1万円

教育のまちづくり事業基金積立金 1 万円 (前年度:1万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育のまちづくり事業基金の利子等を積立します。

- ・ 積立金 1万円



財源

その他(基金利子)	1万円
-----------	-----

教育委員会事務局事務費 451 万円 (前年度:461万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育委員会事務局の運営を行います。

- ・ 教育委員会事務局運営費 441万円
旅費、燃料代、FAX使用料、切手代、コピー代など、教育委員会事務局の運営経費
- ・ 滑川高校と仁川海洋科学高校との国際交流に伴う助成金 10万円



財源

その他(災害共済給付保護者負担金)	105万円
市の負担額	346万円

語学指導外国青年招致事業費 1,964 万円 (前年度:2,004万円)

(担当: 学務課 総務係)

外国語指導助手(ALT)を配置し、児童生徒の英語力の向上を図ります。

ALT 4人を小中学校に配置し、外国語授業や外国語活動のサポートを行います。



財源

その他(家賃代)	53万円
市の負担額	1,911万円

教育費

不登校児童生徒適応指導事業費 356 万円 (前年度:341万円)

(担当: 学務課 総務係)

不登校の児童生徒に適切な指導を行うため、青志会館内に「あゆみ教室」を開設し、相談員を配置します。

- ・報酬等 4人(常時3人体制) 335万円
- ・指導助言及び技術指導謝礼 6万円
臨床心理士、陶芸等指導員など
- ・運営費等 15万円
消耗品費、電話使用料、指導員研修旅費など

財源

市の負担額

356万円

心の教室相談員設置事業費 100 万円 (前年度:104万円)

(担当: 学務課 総務係)

児童生徒のいじめ、暴力及び不登校などの問題について対応する相談員を小中学校に設置し、児童生徒、保護者の不安や悩みの相談を行い、家庭・地域と学校との連携を支援します。

- ・報酬等 相談員3人 93万円
- ・運営費(電話料) 7万円



財源

市の負担額

100万円

特別支援教育推進事業費 2,159 万円 (前年度:2,041万円)

(担当: 学務課 総務係)

障害のある児童生徒をサポートするため、全小中学校へスタディメイトを配置します。また、上市町、立山町、舟橋村と協力して教育相談会(地区相談会)を実施します。

- ・スタディメイト関係費用 2,157万円
〔報酬等(22名) 2,151万円
研修旅費 6万円〕
- ・地区相談会講師謝礼 2万円

財源

市の負担額

2,159万円

社会に学ぶ14歳の挑戦事業費 96 万円 (前年度:96万円)

(担当: 学務課 総務係)

中学校2年生を対象にボランティア活動や職場体験をする14歳の挑戦事業を実施します。

- ・事業所指導ボランティア謝金 37万円
- ・活動材料費 15万円
- ・連絡用切手、生徒・指導員保険料 36万円
- ・検便検査委託料 8万円



財源

国県支出金

48万円

市の負担額

48万円

学校司書配置事業費 540 万円 (前年度:511万円)

(担当: 学務課 総務係)

全小中学校に学校司書を配置し、子ども図書館等と連携して、読書活動の推進、読書環境の充実を図ります。また、読み聞かせボランティアを配置し、朝読書の習慣化を図ります。

- ・ 学校司書報酬等 538万円
専任1人 兼務4人
- ・ 学校司書研修旅費 1万円
- ・ 読み聞かせボランティア保険料 1万円



財源

市の負担額

540万円

学校評議員設置事業費 75 万円 (前年度:75万円)

(担当: 学務課 総務係)

各小中学校に学校評議員を設置し、より地域に開かれた学校づくりを推進します。

各学校に学校評議員を5名設置します。



財源

市の負担額

75万円

小学校英語活動推進事業費 82 万円 (前年度:81万円)

(担当: 学務課 総務係)

外国語に堪能な地域人材を小学校英語活動支援員として学校に配置し、英語力の向上を図ります。(小学校3・4年生対象)

- ・ 支援員報酬等



財源

市の負担額

82万円

学力向上プラン研究事業費 44 万円 (前年度:45万円)

(担当: 学務課 総務係)

確かな学力向上のために、小中学校で拠点校を指定し、実践的な取り組みを行うなど、学力向上を目指します。

- ・ 指導助言、講師謝礼等



財源

国庫支出金

44万円

教育費

スクール・ガードリーダー配置事業費 14 万円 (前年度:14万円)

(担当: 学務課 総務係)

登下校時の不審者等による犯罪から児童生徒を守るため、スクール・ガードリーダーを配置し、児童生徒の安全を見守る体制を整備します。

- ・スクール・ガードリーダーの配置
通学路見回り、防犯教室の開催など。



財源

国県支出金	9万円
市の負担額	5万円

確かな学びサポート事業費 108 万円 (前年度:109万円)

(担当: 学務課 総務係)

標準学力調査を実施し、児童の学力向上を図ります。

- ・標準学力調査実施事業
国語・算数のテストを年1回実施します。



財源

市の負担額	108万円
-------	-------

特色ある学校づくり推進事業費 180 万円 (前年度: 180万円)

(担当: 学務課 総務係)

各学校で特色ある学校づくりを実施するため助成します。

1校当たり 20万円程度

夏休み補充学習教室、専門家による書道、合唱、マンドリン、新川古代神踊り、ネプタ製作、水泳、学校農園等の指導 等

財源

市の負担額	180万円
-------	-------

土曜授業推進事業費 40 万円 (前年度:40万円)

(担当: 学務課 総務係)

地域人材を活用した多様な学習や体験活動をする土曜授業を実施します。

- ・地域コーディネーターや講師への謝礼等

財源

国県支出金	27万円
市の負担額	13万円

教育費

科学・理数・ものづくり教育推進事業費 154 万円 (前年度:155万円)

(担当: 学務課 総務係)

科学・理数教育を推進し、ものづくりのまち滑川にふさわしい人材育成を図ります。

- ・ 観察実験アシスタント整備事業 54万円
理科の観察実験をサポートする観察実験アシスタントを配置します。
- ・ エネルギーに関する教育支援事業 100万円
 - ① エネルギーに関する教育に使用する教材を整備します。
 - ② ワンダーラボでエネルギーに関する教育を受けます。

財源

国県支出金	118万円
市の負担額	36万円

教育センター運営費 981 万円 (前年度: 1,154万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育センターの各種事業を推進します。

- ・ 報酬等 641万円
 - 〔 コンピュータコーディネータ(2名) 513万円
教育センター事務員 128万円 〕
- ・ 研修会等の開催費 23万円
- ・ 教育センターの運営費 317万円

財源

市の負担額	981万円
-------	-------

学校給食共同調理場管理運営費 6,729 万円 (前年度:6,975万円)

(担当: 学務課 学校給食共同調理場)

市内の小中学生に給食を提供するための共同調理場の管理運営を行います。

- ・ 調理員報酬等 2,610万円
- ・ 燃料費・光熱水費 1,940万円
- ・ 給食配送等の委託 1,513万円
- ・ 施設や調理機器の修繕費 238万円
- ・ その他運営費 428万円

<参考>

給食数: 2,941食/日 (R2.5.1現在)
年間給食実施数: 187日 (R2年度)

財源

市の負担額	6,729万円
-------	---------

小学校管理費 9,259 万円 (前年度:9,041万円)

(担当: 学務課 総務係)

各小学校の維持管理を行います。

校務助手雇用経費、消耗品、光熱水費
電話料、切手代、備品購入など、小学校の
維持管理経費。

財源

市の負担額	9,259万円
-------	---------

教育費

スクールバス運行管理費 128 万円 (前年度:110万円)

(担当: 学務課 総務係)

通学が困難な山間部に住む児童のために、スクールバスを運行します。

運転手雇用経費、車両検査料、燃料代など



財源

市の負担額

128万円

小学校教育振興推進費 979 万円 (前年度:2,930万円)

(担当: 学務課 総務係)

各小学校の教育振興を図ります。

児童用図書や副読本、教材備品、教職員用図書など、授業に必要な教材や資料を整備します。

財源

市の負担額

979万円

小学校情報教育設備充実費 1,773 万円 (前年度:1,777万円)

(担当: 学務課 総務係)

各学校にパソコン及び周辺機器を整備し、ICT関連の情報教育環境を整えます。

- ・ 各学校のICT関連機器の維持管理
小学校の教員、児童用パソコンシステム等の維持管理を行います。



財源

市の負担額

1,773万円

要・準要保護児童就学援助費 822 万円 (前年度:888万円)

(担当: 学務課 総務係)

経済的な理由から就学が困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費などを支給することで、教育機会の均等を支援します。

- ・ 学用品等の支給

財源

市の負担額

822万円

教育費

小学校特別支援教育就学奨励費 71 万円 (前年度:67万円)

(担当: 学務課 総務係)

特別支援学級に就学・在籍する児童の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学のために必要な経費の一部を助成します。

- ・ 学用品等の支給

財源

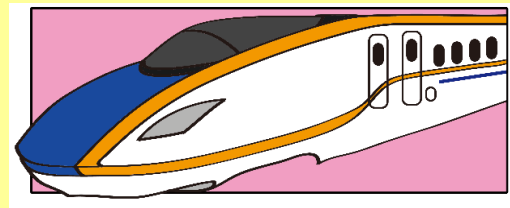
国県支出金	35万円
市の負担額	36万円

新幹線利用姉妹都市交流事業費 285 万円 (前年度:260万円)

(担当: 学務課 総務係)

北陸新幹線を利用し、姉妹都市である長野県小諸市を訪問することで、小諸市への理解と交流を深めます。

- ・ 北陸新幹線を利用した小諸市との交流事業



財源

市の負担額	285万円
-------	-------

小学校営繕費 1,294 万円 (前年度:870万円)

(担当: 学務課 総務係)

小学校の施設及び設備等について、老朽化等による損傷箇所の営繕や予防保全改修を実施し、安全で快適な学習環境を確保します。

- ・ 各学校施設の緊急営繕
- ・ 各学校施設の予防保全改修

財源

市の負担額	1,294万円
-------	---------

中学校管理費 4,652 万円 (前年度:4,996万円)

(担当: 学務課 総務係)

各中学校の維持管理を行います。

校務助手雇用経費、消耗品、光熱水費、電話料、切手代、備品購入など、中学校の維持管理経費

財源

市の負担額	4,652万円
-------	---------

教育費

中学校教育振興推進費 1,456 万円 (前年度:779万円)

(担当: 学務課 総務係)

各中学校の教育振興を図ります。

生徒用図書や副読本、教材備品、教職員用図書など、授業に必要な教材や資料を整備します。

- ・ 教師用教科書、指導書等の購入 689万円
令和3年度は教科書改訂年度のため、教員用の教科書や指導書等を購入します。
- ・ 部活動指導員配置事業 73万円
部活動指導員(3名)を配置します。



財源

国県支出金	47万円
市の負担額	1,409万円

中学校情報教育設備充実費 1,436 万円 (前年度:1,459万円)

(担当: 学務課 総務係)

各学校にパソコン及び周辺機器を整備し、ICT関連の情報教育環境を整えます。

- ・ 各学校のICT関連機器の維持管理
中学校の教員、生徒用パソコンシステム等の維持管理を行います。

財源

市の負担額	1,436万円
-------	---------

要・準要保護生徒就学援助費 1,172 万円 (前年度:1,161万円)

(担当: 学務課 総務係)

経済的な理由から就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費などを支給することで、教育機会の均等を支援します。

- ・ 学用品等の支給

財源

市の負担額	1,172万円
-------	---------

中学校特別支援教育奨励費 58 万円 (前年度:41万円)

(担当: 学務課 総務係)

特別支援学級に就学・在籍する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学のために必要な経費の一部を助成します。

- ・ 学用品等の支給

財源

国県支出金	29万円
市の負担額	29万円

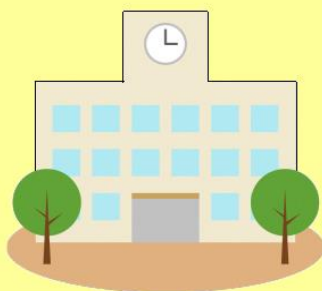
中学校営繕費

1,564 万円
(前年度: 160万円)

(担当: 学務課 総務係)

中学校の施設及び設備等について、老朽化等による損傷箇所の営繕や予防保全改修を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

- ・各学校施設の緊急営繕
- ・各学校施設の予防保全改修



財源

市の負担額

1,564万円

社会教育委員会費

24 万円
(前年度:33万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

社会教育委員に対して、市の社会教育及びスポーツ関連の事業について説明、報告します。委員からの意見を参考に、事業改善を図ります。

- ・委員への報酬 20万円
委員13名（市内小中学校長2名を除く）への委員報酬です。
- ・東海北陸社会教育研究石川県大会の参加費等 4万円



財源

市の負担額

24万円

家庭教育推進費

23 万円
(前年度:23万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

子どもたちの「心の居場所」となる家庭づくりのために、保護者を対象とした各種講座を開催します。

- ・講師謝礼 21万円
※内訳
「親学び講座」 12万円
幼児、児童、生徒をもつ保護者対象
「子育て講座」 6万円
次年度小学校に入学する子どもをもつ
保護者対象
「青少年健全育成に関する講演」 3万円
- ・事務費 2万円



財源

市の負担額

23万円

放課後子ども教室開催費

279 万円
(前年度:260万円)

(担当: 子ども課 家庭福祉係)

放課後等に全ての児童を対象として、地域住民の参画のもと、学習や体験・交流活動を行い、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

- ・放課後子ども教室
各小学校と子ども図書館において、平日の放課後と夏休み等に実施。
茶道、工作、スポーツ、学習などの活動を行います。（全8教室）
- ・土曜子ども教室
児童館において土曜日に実施。
クッキング、スポーツ、茶道などの8つのプログラムを実施します。



財源

国県支出金

183万円

市の負担額

96万円

教育費

青少年健全育成事業費 33 万円

(前年度:33万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

青少年の健全な発達を支援するため、青少年育成滑川市民会議への助成と、少年補導委員による補導活動や環境浄化活動を推進します。

- ・ 補導委員謝礼 16万円
委員は20名以内で、年間15回の巡回補導等を実施します。
- ・ 補導センター運営協議会委員謝礼 7万円
年間2回実施し、活動計画や報告を行い、委員から改善点等を聞きます。
- ・ 補導センター運営協議会講師謝礼 1万円
- ・ 青少年育成滑川市民会議助成金 3万円
- ・ 事務費 6万円

財源

市の負担額

33万円

俳句教室開設費 9 万円

(前年度:9万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

「俳句文芸のまち滑川」の継承と発展のため、俳句ポストの設置や、小・中学生対象の俳句教室、一般市民対象の俳句大会を開催します。

- ・ 俳句教室の開催 1万円
講師への謝礼
- ・ 俳句大会の開催 4万円
講師・俳句選者への謝礼
- ・ 広報の俳句ポスト 3万円
俳句選者への謝礼
- ・ 事務費 1万円



財源

市の負担額

9万円

各種団体育成指導費 32 万円

(前年度:47万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地域コミュニティの醸成や新たな担い手の育成のため、市内の社会教育団体に活動費を助成します。

- ・ 各種団体育成指導事業 32万円
市連合婦人会、児童クラブ連合会に活動費を助成します。

財源

市の負担額

32万円

成人式開催費 66 万円

(前年度:66万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

新たに成人を迎える若人の前途を祝福するとともに、新成人の代表が実行委員となり、社会人としての自覚と誇りを促すために成人式を実施します。

- ・ 成人者への記念品 30万円
実行委員会で記念品の候補を挙げてもらいます。
- ・ 成人のしおり、案内はがき等 22万円
成人式の案内はがきの印刷と当日配布するしおりを製作します。
- ・ 協力者への謝礼 4万円
- ・ 事務用品等 10万円



財源

市の負担額

66万円

市美術展開催費

60 万円
(前年度:60万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

美術作品の制作や鑑賞を通じて市民の情感豊かな心を育み、文化の向上を図ることを目指し、「滑川市美術展」を開催します。

- 作品看視員報酬等 7万円
- 審査員や運営委員への謝礼 15万円
- 入賞者賞金 26万円
- ポスター・出品目録印刷代 8万円
- 事務費 4万円



財源

市の負担額

60万円

音楽鑑賞会開催費

33 万円
(前年度:33万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

芸術文化の振興を目的として市内音楽団体に支援を行います。豊かな心の育成と表現力、感受性の向上を目指し、親子向けの音楽鑑賞会を開催します。

- 演奏会開催補助金 10万円
年1回開催される定期演奏会を支援するため市音楽協会と市吹奏楽団に補助金を交付します。
- プロの演奏家による音楽鑑賞会の開催費 23万円
「光のコンサート」の特別ゲスト等による親子を対象としたコンサートを実施します。



財源

市の負担額

33万円

音楽教室開催費

27 万円
(前年度:27万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

児童・生徒が音楽を通して豊かな心を育むために、各小中学校において講師を招いて音楽教室を開催します。

- 講師への謝礼 27万円
小学校の児童を対象に音楽鑑賞会や実技指導を行ないます。
中学校の吹奏楽部員を対象に講習会を行います。



財源

市の負担額

27万円

【一部新】舞台芸術鑑賞事業費 190 万円
(前年度:30万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

新川文化ホールでの大規模な舞台芸術等の鑑賞チケット代助成や、薪能の開催を支援し、芸術文化の振興を図ります。

- チケット購入費の助成 30万円
1人当たり1回のみ、2千円まで助成
- 【新】薪能開催補助金 160万円



財源

市の負担額

190万円

教育費

男女共同参画推進事業費 78 万円 (前年度:87万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

男女共同参画社会の実現をめざし、「滑川市男女共同参画計画」に基づき啓発活動を推進します。

- 各地区の推進員による啓発活動 64万円
〔 推進員への謝礼 36万円
9地区連絡会への委託料 27万円
推進員保険料 1万円 〕
- 公開講座の開催費 10万円
市民向けに講演会を開催します。
- 事務費 4万円



財源

市の負担額

78万円

学校文化施設開放事業費 37 万円 (前年度:40万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

市民の生涯学習活動の支援を行うため、生涯学習センター(滑川中学校内)、地域交流センター(早月中学校内)の開放を行います。

- 学校文化施設開放事業費 37万円
学校が使用していない夜間、休日の施設管理を委託します。

財源

市の負担額

37万円

文化財保存調査費

317 万円
(前年度:123万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

市内にある文化財の保存・管理や調査をします。また市内の土地を開発する際に、事前に埋蔵文化財の有無を確認するため発掘調査を行います。

- 文化財調査審議会・文化財保護調査委員会の開催 9万円
文化財の調査や指定、保護などについて話し合う会議を開きます。
- 滑川市内古建築第2次調査(第3回) 10万円
市内の古い建築物の分布や特徴、重要性を確認する調査を行います。
- 立山黒部ジオパーク現地見学会の開催 3万円
立山黒部ジオパークに含まれる、市内のジオサイトをめぐる見学会を行います。
- 埋蔵文化財調査費および史跡・文化財の維持管理など
遺跡の発掘調査、史跡や天然記念物周辺の草刈り、文化財の修繕などをします。
- 文化財体験学習館 屋根修繕工事
- 史跡などの看板修繕 5万円
- 事務費 1万円

財源

市の負担額

317万円

ネブタ流し継承事業費**29 万円****(前年度:30万円)**

(担当: 生涯学習課 振興係)

国指定重要無形民俗文化財「滑川のネブタ流し」を次代へ継承するため、寺家小学校児童へ伝習活動を行い、また保存会へ助成します。

- ・ 来年度用ワラ代 (収集作業委託費含む) 9万円
- ・ ネブタ流し保存会補助金 (4町内会) 10万円
- ・ 事務費等 2万円
- 【寺家小分】
- ・ ネブタ材料代 (竹材、木材、藁縄、野菜など) 5万円
- ・ ネブタ製作指導謝礼、運搬・組立費 3万円

財源

市の負担額

29万円

文化・スポーツ振興財団活動助成金**1,000 万円****(前年度:800万円)**

(担当: 生涯学習課 振興係)

滑川市文化・スポーツ振興財団が実施する自主・協賛事業に対し助成します。

- ・ 文化・スポーツ振興財団活動助成金 1,000万円



財源

市の負担額

1,000万円

ディスカバー「滑川」ふれあい事業費**78 万円****(前年度:79万円)**

(担当: 生涯学習課 振興係)

学校と地域の連携をいっそう深め、協力しながら児童・生徒を育みます。地域社会や家庭の教育力を高め、児童・生徒が地域へ働きかける体験活動を通して、主体的に判断し、行動する能力を身に付けるため、4つの活動を柱に実施します。

- ・ 学校地域交流事業 34万円
市内小中学校の児童会や生徒会が中心となり、地域清掃、募金活動、エコキャップ回収などのボランティア活動や、あいさつ運動、高齢者や障害者との心のふれあい活動を推進します。
- ・ ふるさと探検事業 11万円
滑川のよさを見直し、ふるさとに対する愛着を深めるために、小学生とその保護者を対象に、滑川の自然・文化・歴史に関する体験学習を実施します。
(ホタルイカ解剖教室 なめりかわ食育教室 ホタル鑑賞のつどい 等)
- ・ 郷土偉人顕彰事業 17万円
郷土の偉人の業績を周知し、郷土を愛する心を育てます。
(東福寺野自然公園写真会、郷土偉人ミニコンサート、展示会)
- ・ 子どもサミット事業 16万円
次代に活躍する子供たちの代表が一堂に会し、「滑川」の将来について意見交換します。
事前に体験学習や研修を行い、会議の活性化を図ります。



財源

市の負担額

78万円

教育費

ふれあいのバス派遣事業費 247 万円 (前年度:243万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

姉妹都市豊頃町へ小学生を派遣し、ホームステイ交流を通して、相互理解と友好親善を図ります。

- ・ ふれあいのバス事業旅行業務委託
- ・ その他派遣に必要な経費



財源

その他(参加者負担金)	100万円
市の負担額	147万円

社会教育事務費 195 万円 (前年度:188万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

社会教育に関する事業や事務を行います。

- ・ 社会教育指導員報酬等 129万円
社会教育の振興を図ることを目的に、博物館に1名配置します。
- ・ 全国大会、地区大会出場者激励金 7万円
- ・ 庁用車維持管理経費 28万円
- ・ 青少年文化財体験学習施設維持管理経費 15万円
(光熱水費、消防設備の保守点検など)
- ・ 宿場回廊案内板、輪転機などの修繕料 8万円
- ・ 事務費等 8万円

財源

市の負担額	195万円
-------	-------

公民館運営審議会委員費 14 万円 (前年度:14万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

公民館の事業について公民館運営審議会を開催し、事業や運営について審議します。

- ・ 委員への報酬 13万円
- ・ その他事務費 1万円

年に2回公民館運営審議会を開催し、中央公民館と地区公民館の事業や運営について報告説明し、審議会委員が審議します。



財源

市の負担額	14万円
-------	------

心豊かなまちづくり推進費 135 万円 (前年度:135万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地区公民館を拠点に、各種体験教室や多世代交流活動、地元の文化や歴史を学ぶふるさと教育の推進を図ります。

- ・ 「心豊かなまちづくり推進事業」の実施を9地区公民館に委託します。 135万円

《事業の内容》

地域の人材を活かした多世代のふれあい活動を実施します。
ふるさと滑川の歴史・文化に対する理解を深め愛着を育むふるさと講座を開催します。



財源

市の負担額	135万円
-------	-------

社会教育活動総合事業費

144 万円

(前年度: 158万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

いつでも、どこでも、誰もが、自ら気軽に学べるよう、各世代の生涯学習の機会を提供するため、各種教養講座、教養教室等を開催します。また、生涯学習情報紙を発行し、市民の生涯学習に関する関心を高め、参加の促進を図ります。

- ・ふるさと市民大学 40万円
各方面で活躍中の郷土出身の講師を招き、政治、経済、科学・文化、芸術、芸能などの一般教養を主とした講座を開催します。
- ・福寿大学 26万円
市内在住60歳以上の市民を対象として、各種教養講座の開催や野外活動等を実施します。
- ・中央公民館教養教室、くらしの窓（教養講座） 45万円
料理、パソコン活用、花遊び、各種体験教室を開催します。各種趣味の講座を開催し、趣味を生かしてのサークル活動を進めるとともに生きがいづくりを図ります。
- ・遊学のまち発行 17万円
情報紙「遊学のまち」を年2回、全戸配布し、市民に生涯学習の情報を提供します。
- ・生涯学習センターパソコンリース料 16万円
パソコン教養教室等に使用します。

財源

市の負担額

144万円

郷土芸能活性化事業費

73 万円

(前年度: 73万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

伝統文化の保存と継承を図るため、郷土芸能育成団体へ助成を行うほか、全小中学校で保存会等と連携し、新川古代神踊りの伝承活動を実施します。

- ・講師謝礼 30万円
新川古代神踊りの指導のために、全小中学校に講師を派遣します。
小学校は運動会で、中学校は龍宮まつりや体育大会で披露します。
- ・扇子、あじろ笠等の購入 34万円
新川古代神踊りで使用する物品を購入し、全小中学校へ配布します。
- ・郷土芸能育成団体への運営補助金 9万円

内訳

新川古代神保存会	5万円
加島町獅子舞保存会	2万円
松坂踊り保存会	2万円



財源

市の負担額

73万円

教育費

地区公民館活動推進費 2,900 万円 (前年度:2,816万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地区公民館の活動を推進します。

- ・報酬等 1,803万円
市内9地区公民館に館長・主事・主事補・指導員を各1名、1分館に分館長1名を配置します。
- ・コミュニティづくり推進事業委託料 367万円
地区公民館を拠点とした活動を助成します。「コミュニティづくり推進事業」の実施を9地区公民館・1分館に委託します。
- ・公民館管理費 730万円
光熱水費、設備点検料、保険料など

財源

市の負担額 2,900万円

地区公民館整備費 1,268 万円 (前年度:133万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地区公民館の予防保全改修や損傷箇所等の不具合を修繕し、快適に利用できるよう整備します。

- ・滑川東地区公民館非常灯新設修繕工事
- ・早月加積地区公民館非常階段補修工事
- ・北加積地区公民館屋根修繕工事
- ・山加積地区公民館屋根修繕工事
- ・蓑輪分館耐震改修工事
- ・その他各地区公民館の修繕等

財源

市の負担額 1,268万円

【新】浜加積地区公民館整備費 1億1,254 万円 (前年度:-万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

浜加積地区公民館と浜加積地区福祉センターを統合し、新しい浜加積地区公民館を整備します。

- ・浜加積地区公民館改築工事等
(改築工事、工事監理、解体工事など)

財源

国県支出金 2,274万円
借入金 6,900万円
市の負担額 2,080万円

中央公民館管理運営費 642 万円 (前年度:622万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

中央公民館の運営を行います。

- ・公民館職員の報酬等 607万円
- ・管理運営費 35万円
事務用品、電話料、印刷機のリース料など

財源

市の負担額 642万円

公民館事務費31 万円
(前年度:44万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

公民館に関する事業や事務を行います。

- ・ 地区公民館の建物総合損害共済金 5万円
- ・ 研修会参加負担金等
県公民館連合会分担金 14万円
東海北陸公民館大会（福井県）負担金等 6万円
- ・ 事務費等 6万円

財源

市の負担額 31万円

**図書館管理費**1,645 万円
(前年度:2,167万円)

(担当: 生涯学習課 図書館)

施設の維持・管理を行います。

- ・ 施設設備保守点検業務等 685万円
(警備、空調設備、エレベーター等)
- ・ 施設設備の修繕・工事費 138万円
- ・ 光熱水費 468万円
- ・ その他の維持管理費用 57万円
(消耗品、電話料、事務機器リース等)
- ・ 人件費(司書) 297万円

財源

市の負担額 1,645万円

図書館運営費1,560 万円
(前年度:1,746万円)

(担当: 生涯学習課 図書館)

図書の貸出や収集等、図書館の運営を行います。

- ・ 図書館協議会委員報酬 6万円
- ・ 読書会等講師謝礼 10万円
- ・ 図書、雑誌等の購入及び登録経費
(登録用システム使用料含む) 666万円
- ・ 図書館システム経費 103万円
- ・ 協会費、負担金等 6万円
(日本図書館協会、富山県図書館協会等)
- ・ 事務費等 134万円
(運営用消耗品、喫茶コーナー消耗品等)
- ・ 人件費(受付窓口補助員) 635万円

財源

その他(喫茶売上金)	68万円
市の負担額	1,492万円

教育費

子ども図書館管理運営費 1,634 万円 (前年度:1,652万円)

(担当: 生涯学習課 子ども図書館)

子育て支援機能を併せ持つ子ども図書館の管理運営を行います。

- ・ 館内展示作品制作謝礼 5万円
- ・ 図書、雑誌等の購入、登録経費 132万円
- ・ 図書館システム経費 51万円
- ・ 運営用機器リース経費 36万円
(防犯カメラ、コピー機等)
- ・ 図書、施設修理経費 5万円
- ・ 交流プラザ共益費(電気・水道・清掃等) 180万円
- ・ 運営用消耗品等 90万円
- ・ 人件費(司書、保育士、受付窓口補助員) 1,135万円

財源

市の負担額 1,634万円

本とのふれあい推進事業費 64 万円 (前年度:68万円)

(担当: 生涯学習課 子ども図書館)

子どもたちの読書活動の支援、子育て支援を目的とし、子ども図書館において、おはなし会、ワークショップ等を開催します。

- ・ おはなし会、子ども映写会 6万円
- ・ 子育て支援講座、ワークショップ、子どもおたのしみ会 35万円
- ・ ブックスタート事業 17万円
すべての赤ちゃんに絵本を1冊プレゼントします。
(4か月児健診受診後～1歳の誕生日)
- ・ 県図書館協会ナビゲーション事業 6万円
夏のおたのしみ会として、絵本を通じたイベント(人形劇等)を実施します。
親子での図書館利用を促し、子どもたちが本に親しむ契機とします。

財源

その他(県図書館協会) 3万円
市の負担額 61万円

博物館管理費 1,058 万円 (前年度:1,454万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

施設の維持、管理を行います。

- ・ 施設設備保守点検業務等 505万円
(警備、空調設備、エレベーターなど)
- ・ 施設設備の修理等 45万円
- ・ 光熱水費 367万円
- ・ 庁用車リース等 75万円
- ・ 事務費等 66万円

財源

市の負担額 1,058万円

博物館運営費 266 万円 (前年度:270万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

滑川市美術協会や市内の連盟(日本画・洋画・書道・写真)の作品展の開催や、博物館資料の収集などをします。

- ・ 博物館協議会の開催 7万円
- ・ 美術協会展・連盟展の開催 8万円
- ・ 夕焼けコンサート開催費 4万円
- ・ 博物館だより印刷代 5万円
年1回「博物館だより」を作成し、県内外の博物館、美術館などへ配布します。
- ・ 各種協議会の負担金等 15万円
(日本博物館協会、富山県博物館協会など)
- ・ 事務費、資料購入費等 80万円
- ・ ミュージウムカフェ運営費 147万円

財源

その他(カフェ売上金) 30万円
市の負担額 236万円

【新】展覧会等開催費

270 万円

(前年度:295万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

「収蔵品展―屏風の世界―(仮題)」、「滑川スポーツ史(仮題)」、「古文書に見る人々の暮らし(仮題)」を開催予定です。

- ・「収蔵品展―屏風の世界―(仮題)」(春季) 4万円
博物館で所蔵する約1,300点以上ある美術品の中から屏風作品を紹介します。
- ・「滑川スポーツ史(仮題)」(7~9月) 151万円
2021年夏は延期された東京オリンピックが開催予定であり、日本の夏を彩る全国高校野球選手権大会の開催や、朝乃山関の活躍も期待されています。富山県内でもスポーツ熱が高まることから、滑川ゆかりのスポーツ選手・チーム・相撲を取り上げて紹介します。
- ・「古文書に見る人々の暮らし(仮題)」(秋~冬) 115万円
江戸時代に「ふるさと滑川」の地に生きた先人たちの暮らしぶりや当時の社会の様子を、当館が近年収蔵した古文書等から紹介します。

市の負担額

270万円

子ども科学教室開催費

39 万円

(前年度:39万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

小・中学生を対象とした自然観察教室(化石教室、植物探検にいこう!、川であそぼう!!、天文教室)を開催し、またロボットセミナーの開催を助成します。

- ・自然観察教室(上級) 12万円
市内外での化石採集や地層観察をします。
- ・自然観察教室(初級) 8万円
春と秋の草花観察や川あそびなどをします。
- ・天文教室 6万円
春~夏、秋~冬の星空観察や、中秋の名月を観賞します。
- ・ロボットセミナー開催補助 10万円
- ・事務費 3万円

財源

市の負担額

39万円

青志会館管理運営費

550 万円

(前年度:505万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地域交流センター青志会館の管理運営を行います。

- ・教養教室 10万円
- ・青志会館管理運営費 217万円
消耗品、光熱水費、切手代、電話料金、設備の保守点検、修繕などの経費
- ・人件費 323万円

地域住民を対象とし、趣味・特技を生かした教養教室やスポーツ教室の開設、サークル活道や余暇を楽しむための施設の提供などを行なっています。



財源

市の負担額

550万円

教育費

働く婦人の家管理運営費 746 万円 (前年度:701万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

働く婦人の家の管理運営を行います。

- ・ 教養教室、啓発講座講師謝礼 57万円
- ・ 働く婦人の家管理運営費 142万円
消耗品、光熱水費、切手代、電話料金、
設備の保守点検など
- ・ 40周年記念事業関係 12万円
記念誌の製作費など
- ・ 施設修繕費等 50万円
- ・ 人件費 485万円

技術や教養を習得する教養講座の開設、
サークル活動や仲間づくりの場としての
施設の提供などを行なっています。

財源

市の負担額 746万円

青雲閣管理運営費 2,155 万円 (前年度:2,152万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

東福寺野自然公園研修センター青雲閣の管理運
営を行います。

- ・ 青雲閣指定管理料 2,134万円
《指定管理者》
文化・スポーツ振興財団
- ・ マイクロバス管理費用 17万円
(車検費用、自賠責保険など)
- ・ その他管理運営費等 4万円

財源

市の負担額 2,155万円

スポーツ推進委員費 259 万円 (前年度:255万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内9地区の公民館から選出されたスポーツ推
進委員が、各地区のスポーツ行事や市のスポー
ツイベントの運営、ニュースポーツの普及を図
ります。

- ・ 委員40名への報酬 220万円
- ・ 広報誌の発行 6万円
広報誌「スポーツパラダイス」を年2回
発行します。
- ・ ニュースポーツ研修会の委託 2万円
ニュースポーツの普及を図るための研修会
を市スポーツ推進委員協議会へ委託します。
- ・ スポーツ推進委員研修会参加助成金 24万円
全国、北陸地区、県などで開催される研修
会の参加負担金を助成し、委員の資質向上
を図ります。

財源

市の負担額 259万円

市民体育大会費 175 万円 (前年度:175万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市民体育大会の開催を市体育協会に委託しま
す。24競技が行われ、県民体育大会の予選会
として毎年開催しています。

- ・ 第74回市民体育大会開催費 175万円
(市体育協会へ委託)
賞状の印刷費や、選手保険料、審判謝礼、
消耗品、会場使用料等の大会運営経費に
充てられます。



財源

市の負担額 175万円

市民スポーツ振興費 337 万円 (前年度:353万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツの振興を目的として、スポーツ振興審議会の開催や、市民スポーツ大会の開催費用、スポーツ少年団の活動などに対し助成します。

- スポーツ振興審議会委員報酬 7万円
学識経験者の方などと市のスポーツ振興について、年2回話し合います。(委員8名)
- 全国大会等出場者への激励費 30万円
国民体育大会や全国大会などに出場する市出身選手(一般)に対し激励費を支給します。
- 各種大会助成費 208万円
県民体育大会への派遣や各種市民スポーツ大会の開催(10種目+武道大会)を市体育協会へ委託します。
- 各種補助金 92万円

- スポーツ少年団育成補助 25万円 (市内25団体) - バス運行補助金 63万円 (市体育協会へ助成) など

財源

市の負担額	337万円
-------	-------

総合型地域スポーツクラブ 育成支援事業費 150 万円 (前年度:150万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

生涯にわたり健康で明るく充実した生活を送ることを目的に活動を行う総合型地域スポーツクラブ「なめりCANクラブ」に対し助成します。

- なめりCANクラブへの補助金 150万円
スポーツ教室やイベントなどの開催、スポーツ情報の提供、クラブの運営に関する事務等に対して支援します。



財源

市の負担額	150万円
-------	-------

温水プール運営費補助金 1,374 万円 (前年度:1,374万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内唯一の温水プールである、滑川室内温水プール(運営:公益財団法人体力づくり指導協会)の運営費等について助成します。

- 運営補助金 1,374万円

- 運営管理補助分 1,344万円 - 下水道使用料助成分 30万円



財源

市の負担額	1,374万円
-------	---------

スポーツエキスパート派遣事業費 65 万円 (前年度:70万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内中学校運動部員の競技力向上と活動の充実を図るため、専門的な知識をもつ外部指導者を派遣します。

- スポーツエキスパート報償費 62万円
両中学校合わせて最大13名、年間24回派遣(県補助事業 報償費の1/3)



財源

国県支出金	21万円
市の負担額	44万円

教育費

トップアスリート育成費

437 万円

(前年度:469万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

オリンピック・パラリンピックをはじめ将来の大会を見据え、本市のジュニアアスリート等の育成や支援を行います。

- ・ 中学校全国大会等派遣助成 19万円
全国・北信越中学校体育大会への出場に際し交通費や宿泊費を助成します。
- ・ 全国等出場者への激励費 115万円
〔 小中高生の全国大会等出場者激励費 103万円
国際大会出場者激励費及び応援懸垂幕設置費 12万円 〕
- ・ トップアスリート講座 42万円
トップアスリートを招き、講演会や実技指導の講習会を開催します。
- ・ スポーツトレーニングスクール 22万円
部活動を引退した中学校3年生を対象に、特別講師を招きトレーニングスクールを開催します。
- ・ 屋内運動場トレーニング講習会 9万円
屋内運動場を利用した冬場のトレーニング講習会を行います。
- ・ 市体育協会へ競技力向上等のための事業委託 210万円
〔 競技団体等強化育成費 180万円、市民スポーツ大学開催費 10万円
ジュニアスポーツ教室開催費 20万円 〕
- ・ 中学校競技専門部強化育成補助金 20万円
(市中学校体育連盟へ助成)



財源

市の負担額

437万円

子どもの体力向上推進事業費 67 万円

(前年度:66万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

子どもの体力向上について、市内全認定こども園、幼稚園、保育園(所)、小学校、中学校と連携し、継続的な視点での取り組みを支援します。

- ・ プレイリーダー派遣費 54万円
幼・保・小学校に年2回程度プレイリーダーを派遣し、運動好きな子どもの育成に継続的に取り組みます。
- ・ 指導者養成講習会 3万円
保育士、教諭を対象に子どもの体力向上に効果的な運動の仕方を学ぶ講習会を行います。
- ・ 取組報告書作製費 5万円
小中学生の体力テスト結果や各学校の取組状況を掲載した「子どもの体力向上への取組報告書」を作製します。
- ・ スポーツ少年団交流大会開催委託料 (市スポーツ少年団へ委託) 5万円

財源

国県支出金

10万円

市の負担額

57万円

ジュニアスポーツサポート事業 29 万円

(前年度:29万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

平日夕方の時間帯、中学生を対象に、専門的な知識をもつ指導者が、質の高い基礎トレーニング等を行い、体力向上・競技力向上を目指します。

- ・ 講師謝礼(専門的な指導者等) 19万円
- ・ チラシ印刷費 3万円
- ・ 参加者保険料 4万円
- ・ 会場使用料 3万円



財源

市の負担額

29万円

ほたるいかマラソン開催助成費 200 万円 (前年度:200万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

健康増進・交流を図ることを目的に、本市最大のスポーツイベントである「ほたるいかマラソン」の開催を支援します。

- 第24回ほたるいかマラソン運営補助金
(市体育協会へ補助) 200万円

【過去のゲストランナー】

高橋尚子さん、有森裕子さん、増田明美さん
間寛平さん、東国原英夫さん、石原良純さん
東洋大学陸上競技部女子長距離部門の皆さん
エリック・ワイナイナさん
川内勇輝さん、野々村真さん など



財源

市の負担額

200万円

バウンドテニス交流大会開催費 20 万円 (前年度:20万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

第9回滑川キラリン杯バウンドテニス交流大会の開催を支援します。県外からの参加者が多く、バウンドテニスを通じて交流を図るほか、スポーツ観光を推進します。

- 大会実行委員会に対し開催費を助成します。
20万円



財源

市の負担額

20万円

市民スポーツフェスタ開催費 50 万円 (前年度: 50万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市民参加型の総合スポーツイベント「第8回市民スポーツフェスタ」の開催を市体育協会へ委託します。

- 開催委託料 50万円
(市体育協会へ委託)

市内で開催されるスポーツイベントの総合開会式としてオープニングセレモニーを開催し、各競技団体、スポーツ少年団、老人クラブが協力しスポーツ意識の高揚を図ります。

セレモニー終了後は、スポーツ体験イベントやスポーツ施設の無料開放、各競技団体の市民体育大会が開催されます。



財源

市の負担額

50万円

夢の教室開催費 242 万円 (前年度:228万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツ選手やそのOB/OGを「夢先生」として迎え、小学校5年生、中学校2年生の全学級において特別授業を開催します。中学校においてスポーツ教室を各1回実施します。

- 開催委託料 239万円
(日本サッカー協会・
こころのプロジェクト推進室へ委託)



財源

市の負担額

242万円

教育費

スポーツ・健康づくり推進事業費

74 万円

(前年度:80万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

ウォーキングやラジオ体操等の軽運動の推進、ウォーキングサッカー教室の開催、健康ポイント等の実施により、特に高齢者等のスポーツ実施率向上を図り、スポーツを通じた健康長寿社会の創生を目指します。

- ・「朝のつどい」の開催 15万円
市体育協会と合同で、4月から10月の土曜日早朝に、スポーツ・健康の森公園及び総合体育センターで、ラジオ体操やヨガなどの軽運動体験のつどいを開催します。
- ・キラリン健康ポイントの実施 25万円
検診の受診や運動・健康づくり教室への参加、スポーツ施設やウォーキングコースの利用等でポイントを付与します。ポイントを貯めた方には、抽選で記念品を贈呈します。
- ・ウォーキング教室等の開催 34万円
健康ウォーキング指導士による教室の開催や、ウォーキングしながら本市の観光などを楽しめるイベントを委託します。
 - 健康ウォーキング教室 6万円
 - ウォーキングイベントの委託（なめりCANクラブへ委託） 8万円
 - ウォーキングコース誘導看板設置 20万円



財源

市の負担額

74万円

宇津木杯ソフトボール交流大会開催費

77 万円

(前年度:80万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

元女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子氏の来滑を記念し、宇津木杯ソフトボール交流大会及びトップアスリートによるソフトボール教室を開催することにより、ジュニア層の競技力向上を目指すもの。

- ・講師謝礼等 60万円
宇津木氏及びトップアスリートへの講師謝礼
市ソフトボール協会への審判及び大会運営に対する謝礼
- ・大会運営消耗品等 17万円



財源

市の負担額

77万円

ウォーキングサッカー大会開催費 46 万円 (前年度:46万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

老若男女、だれもが気軽に楽しめるウォーキングサッカーの大会を開催し、仲間と交流し、楽しみながら健康づくりができる機会をつくりま

- ・講師及び審判謝礼等 29万円
大会に元Jリーガーなどを講師に迎え、大会を盛り上げます。(株)ジャパン・スポーツ・プロモーションへ委託)
- ・大会運営消耗品等 17万円



財源

市の負担額

46万円

保健体育事務費 511 万円 (前年度:507万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツに関する事業や事務を行います。

- ・研修会負担金等
スポーツ推進委員研修会等 13万円
県体育施設協会負担金 1万円
- ・県社会教育主事派遣事業負担金 443万円
- ・その他事務費 54万円
消耗品費、庁用車リース料など



財源

市の負担額

511万円

東京2020オリンピック振興費

350 万円
(前年度:350万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴い、関係事業を行うことによりスポーツの振興を図ります。(令和2年度から延期となったもの)

- 聖火リレー開催費 250万円
東京2020オリンピック聖火リレー及びミニセレブレーションを開催します。
・出演団体及びボランティア謝金
・会場消耗品、手旗等
・ステージバックパネル作成委託
・応援送迎バス利用料
・市町村負担金 等



- 滑川市民体育祭開催費 100万円
東京2020オリンピック・パラリンピック開催を記念し、第3回滑川市民体育祭を開催します。
・講師、審判謝礼
・大会参加賞、副賞
・競技用消耗品、大会プログラム印刷費等
・大会参加者の保険料
・地区公民館大会参加委託料
・競技用品レンタル料 等



財源

市の負担額

350万円

教育費

社会体育施設管理費 617 万円 (前年度:513万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内小中学校グラウンド・体育館の市民への開放や、下梅沢テニスコート等の社会体育施設を適切に管理し、市民スポーツの振興を図ります。

- ・施設管理費等 491万円
 - 学校体育施設開放用消耗品等 30万円
 - グラウンド、体育館照明電気料 281万円
 - 施設管理・修繕費等 180万円
- ・社会体育施設指定管理料 126万円
 - 下梅沢テニスコート《指定管理者》 111万円
 - 市体育協会
 - 千鳥スキー場《指定管理者》 15万円
 - 千鳥スキー場運営委員会



財源

その他（使用料等）	170万円
市の負担額	447万円

テニス村管理運営費 4,010 万円 (前年度:3,959万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

みのわ温泉テニス村の管理運営を行います。

- ・みのわテニス村指定管理料 3,695万円
《指定管理者》
文化・スポーツ振興財団
- ・各種修繕等 300万円
- ・駐車場用地借上げ 15万円



財源

市の負担額	4,010万円
-------	---------

総合体育センター管理運営費 2,636 万円 (前年度:2,648万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合体育センターの管理運営を行います。

- ・総合体育センター指定管理料 2,636万円
《指定管理者》
市体育協会



財源

市の負担額	2,636万円
-------	---------

総合体育センター整備費 400 万円 (前年度:190万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合体育センターの修繕や改修を計画的に実施し、施設の長寿命化を図ります。

- ・施設設備整備費
体育館受電設備更新工事等



財源

市の負担額	400万円
-------	-------

スポーツ・健康の森公園管理運営費 2,257 万円
(前年度:2,238万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツ・健康の森公園の管理運営を行います。

- ・ スポーツ・健康の森公園指定管理料
《指定管理者》 市体育協会 2,214万円
- ・ 施設修繕料等 25万円
- ・ 庁用車（軽トラック）リース料 18万円



財源

その他（公園使用料等）	110万円
市の負担額	2,147万円

スポーツ・健康の森公園整備費 40 万円
(前年度: -万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市民の健康増進・競技力向上を図るため、スポーツ・健康の森公園の設備を修繕します。

- ・ 施設備品修繕
ピッチングマシーンホイール交換等



財源

市の負担額	40万円
-------	------

